

給湯タイプ 食器洗い乾燥機

品番 07-105 取扱説明書

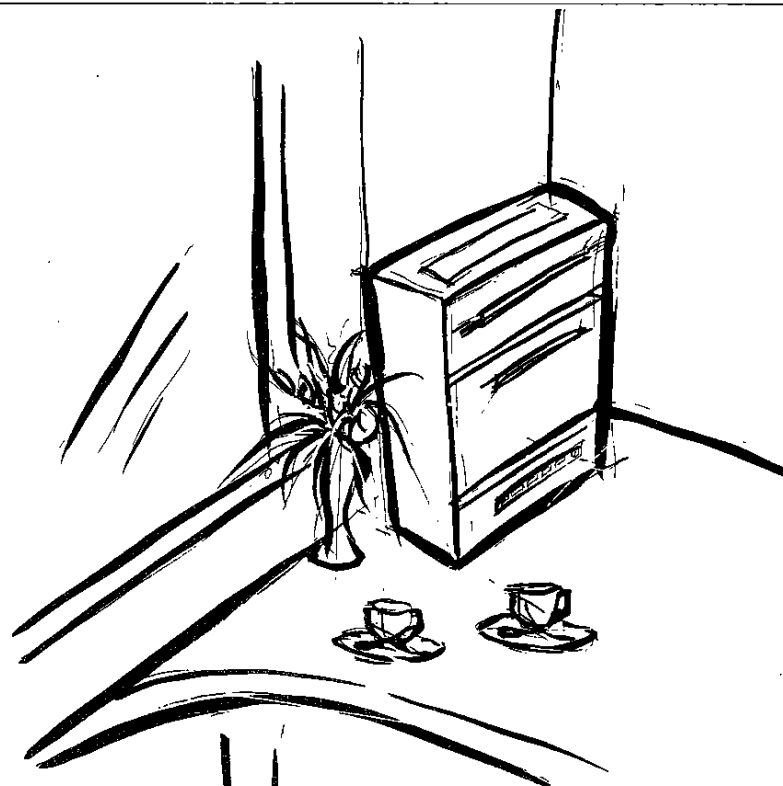
保証書別添付 施工説明書別添付



大阪ガス

大阪ガスのお問い合わせ先

大阪事業本部	〒650	大阪市西区千代崎3丁目南2-37	電話	大阪	06 (586) 1122
南都事業本部	〒590	堺市住吉崎町2-2-19	電話	堺	0722 (38) 1131
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1-5	電話	和歌山	0734 (31) 2481
北東部事業本部	〒578	東大阪市梅薫2-3-17	電話	河内	0729 (62) 1131
高槻事業所	〒569	高槻市星の里町39-6	電話	高槻	0726 (71) 0361
奈良支社	〒631	奈良市学園北2-4-1	電話	奈良	0742 (44) 1111
兵庫事業本部	〒650	神戸市中央区東川崎町1-8-2	電話	神戸	078 (380) 3100
姫路支社	〒670	姫路市神屋町4-9	電話	姫路	0792 (85) 2221
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6-57	電話	豊岡	0796 (23) 2221
京浜事業本部	〒600	京都市下京区中堂寺栗田町1	電話	京都	075 (311) 7381
滋賀支社	〒525	草津市西大路町5-34	電話	草津	0775 (62) 5311
滋賀東支社	〒522	彦根市大東町12-11	電話	彦根	0749 (22) 3131
長瀬センター	〒526	長浜市南興経町3-4	電話	長浜	0749 (62) 7171
本社	〒541	大阪市中央区平野町4-1-2	電話	大阪	06 (202) 2221



■このたびは食器洗い乾燥機をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■この取扱説明書・保証書・施工説明書は大切に保存し、いつでも再読できるようにしておいてください。

■保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて販売店からお受け取りください。

お使いになる前に

つかいかた

お手入れ

設置

故障かなと思ったら
アフターサービス

INDEX

お使いになる前に

安全のために必ずお守りください	3
各部のなまえ	6
操作パネルのなまえとはたらき	9
食器の入れかた	10
入れてはいけないもの	14
乾燥について	15
初めてお使いになる前にご確認ください	16
初めてお使いになる前にお守りください	17

つかいかた

つかいかた	18
いろいろな食器のセット例	24

お手入れ

お手入れ	26
------	----

設置

本体の設置	30
-------	----

故障かな?と思ったら

仕上がりが悪いと思われる場合	34
こんなときは故障ではありません	35
運転しないとき	36
凍結・停電・断水・ブレーカ作動の場合	36
異常報知について	37

アフターサービス

アフターサービスについて	39
引越しのときのお願い	39
仕様	40
別売品	40



安全のために必ずお守りください

絵表示について...

この説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次の通りです。内容をよく理解されてから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例...



分解禁止

① 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



② 記号は行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は特定しない一般的な使用者の行為の強制）が描かれています。

警告

絶対に分解・修理・改造は行わないでください。



分解禁止



異常動作をしてケガをしたり、発火や感電など思わぬ事故の原因になります。

運転中は、本体に衝撃を与えないでください。



衝撃禁止



感電や漏電・ショートによる火災のおそれがあります。

火のついたローソク、蚊取り線香、タバコなどの火気や揮発性の引火物を近づけないでください。



火気禁止



変形や火災のおそれがあります。

水につけたり、水をかけたりしないでください。



水濡れ禁止



ショート・感電のおそれがあります。

洗浄中または、洗浄終了直後は洗浄槽内面や残菜フィルター上面に触れないでください。



接触禁止

（セータが残菜フィルター下部にありませぬ）



やけどをするおそれがあります。

お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



電源プラグを抜く



感電やケガをするおそれがあります。

安全のために必ずお守りください(つづき)

警告

電源プラグは、刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭いてください。



火災のおそれがあります。

電源プラグをぬれた手で拭き触ししないでください。



ぬれ手禁止



感電のおそれがあります。

設置場所はガスコンロなど熱源から15cm以上離してください。



距離の確保

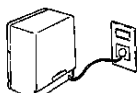


火災や変形のおそれがあります。

アースを確実に取付けてください。
※アース工事は必ず電気工事に依頼してください。(有料)



アース接続



故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

定格15A以上のコンセント(専用)を単独で使用してください。※タコ足配線は絶対にしないでください。



専用電源



他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火するおそれがあります。

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。



禁止

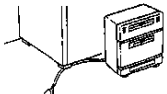


電源コードが破損し、火災・感電のおそれがあります。

電源コードの上に重い物を載せたり、はさみんだりしないでください。



禁止

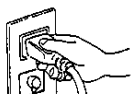


電源コードが破損し火災・感電の原因になります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないでください。



感電やショートして発火するおそれがあります。



コンセントの強込みがゆるいときや、電源コードや電源プラグが傷んでいるときは使用しないでください。



禁止



感電・ショート・発火のおそれがあります。
※電気工事に点検修理を依頼してください。

煙が出ている、窓なおいがあるなどの異常がある場合は、事故防止のためすぐに電源プラグを抜き、分岐金具の止水栓レバーを閉じてください。



電源プラグを抜く



感電や漏電・ショートなどによる火災のおそれがあります。

注意

残菜フィルターの掃除、お手入れ、また、食器の出し入れは、洗浄槽内が十分冷えてから行ってください。

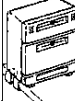


やけどをするおそれがあります。

転倒防止金具はしっかりとした平らな面に正しい方法で取付けてください。



転倒防止



転倒した際、ケガややけどの原因となります。

洗浄中は、ドアを開けないでください。



禁止



お湯がとび出したり、高温の湯気が出てやけどをするおそれがあります。

運転中、排気口付近には近づかないでください。また、洗浄直後ドアを開けるときには顔などを近づけないでください。



禁止



湯気、湯風によりやけどをするおそれがあります。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わないでください。



禁止



やけど・ケガをするおそれがあります。

元止め式湯沸器には接続しないでください。



禁止



本体に給湯されなかったり、湯沸器から水漏れするおそれがあります。

開いたドアや本体を強く押さないでください。



禁止



転倒、破損による思わぬケガの原因となります。

残菜フィルターは正しく取付けてください。

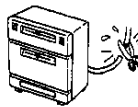


カゴから物が落下した際に発煙、発火のおそれがあります。

給湯ホースは切らないでください。



禁止



水漏れの原因になります。

長期給湯使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、分岐金具の止水栓レバーを閉じてください。



電源プラグを抜く

万一の場合の思わぬ事故を防ぐことができます。

お湯を使用中、または使用後すぐに分岐金具本体に触れないでください。



禁止



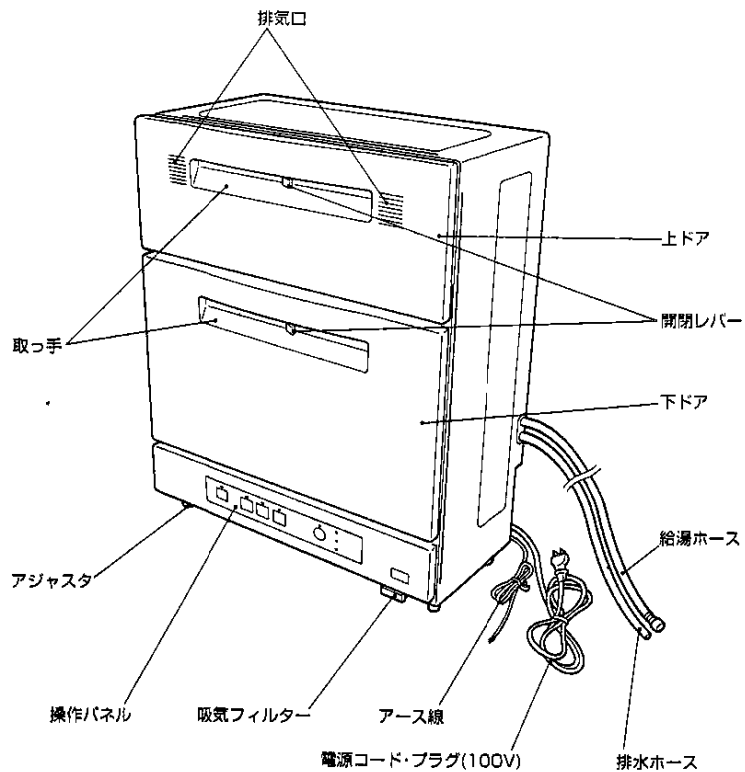
やけどをするおそれがあります。

お使いの要領

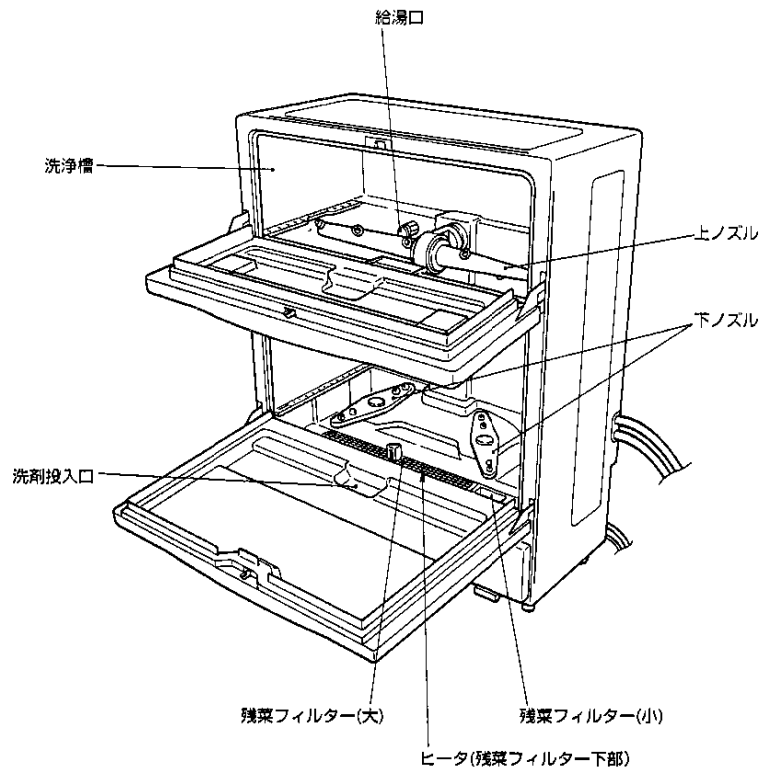
各部のなまえ

本体

※上下ドアの開閉方法についてはP.19をご覧ください。



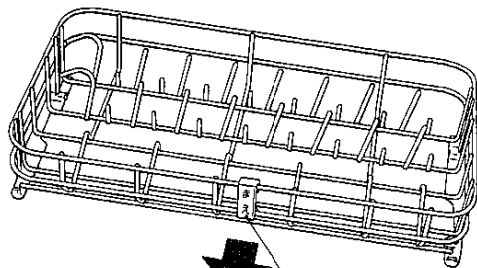
本体内部



お使いになる前に

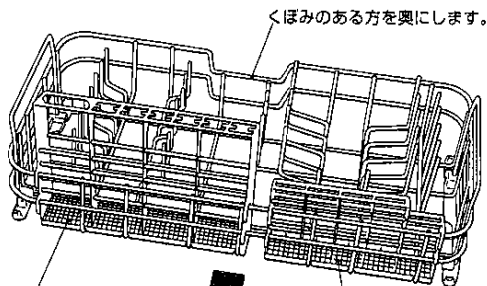
各部のなまえ(つづき)

上カゴ



ドア側 表示板のある方を手前になります。

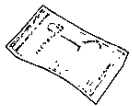
下カゴ



くほみのある方を奥にします。
小物入れ(大) ドア側 小物入れ(小)

同梱品

■専用洗剤
(100g)
計量スプーン付



設置に必要な付属品(P.30本体の設置)

■フラットバー 1個	■ガイド 1個	■六角ナット 4個	■木ねじ 1本	■ホース口金 1個
■網付スパナ 2本	■皿吸盤 1個	■ホースホルダー 2個	■施工説明書 1部	

付属の専用洗剤がなくなりましたら、別売のハイウォッシュS(P.40)をお求めください。

操作パネルのなまえとはたらき

電源表示

電源が「入」のときランプが点灯し、「切」のとき消灯します。

コース表示

選択されたコースを表示します。
■選択されたコースのランプが点灯します。

一時停止表示

一時停止中にランプが点滅します。

運転表示

運転の状況をランプの点滅でお知らせします。
■一時停止中またはドアを開けたときは、点滅から点灯へ変わります。

お使いになる前に



電源スイッチ

運転するときは、押して「入」にします。
■「入」になると、コース選択待ちの状態になります。「切」にするときは、もう一度押します。
■運転が終了すると自動的に「切」になります。
■コース選択をせずに10分放置すると「切」になります。

コース選択スイッチ

食器の汚れに合わせて3つのコースから選択します。
(詳しくはP.20をご覧ください)
■希望のコースを押すと運転が始まります。

一時停止スイッチ

運転を途中で止めるときに押します。
■運転を再開させるときは、もう一度押します。

◎電源のオートオフについて

- 電源を「入」にしたあとコース選択ボタンを押さずに10分間放置すると、自動的に「切」になります。
- 洗浄が終了して120分後、電源は自動的に「切」になります。

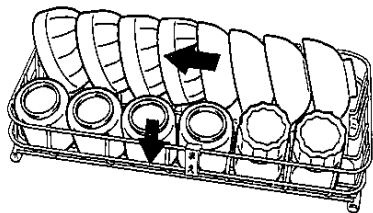
食器の入れかた

◎標準的な食器の入れかた (いろいろな食器の入れかたはP.24をご覧ください。)

※必ず食器の内側を矢印方向に向けて入れてください。

上カゴ

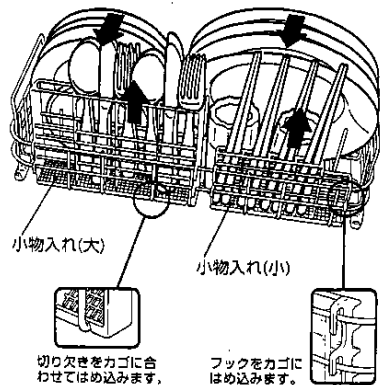
- 吸物わん - 4点
- 茶わん - 4点
- 湯のみ - 4点
- コップ - 2点



下カゴ

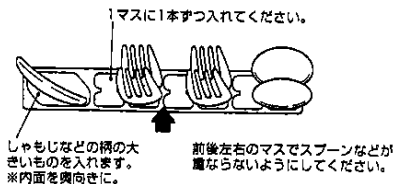
- 大皿 - 4点
- 中皿 - 4点
- 小皿 - 4点
- コップ - 2点
- スプーン
- ナイフ
- フォーク
- はし

●小物入れ(大)は下カゴ手前の左側に、
小物入れ(小)は右側にセットしてください。



◎小物入れ(大)の使用例

※矢印の方向に食器の内側を向けてください。



しゃもじなどの柄の大きいものを入れます。
※内側を奥向きに。

前後左右のマスでスプーンなどが重ならないようにしてください。

上カゴへの食器の入れかた	1	吸物わんを入れる ●内面を左向きに	2	茶わんを入れる ●内面を左向きに	3	湯のみコップを入れる ●内面を下向きに

下カゴへの食器の入れかた	1	小皿を入れる ●内面を手前向きに	2	中皿を入れる ●内面を手前向きに	3	コップを入れる ●内面を下向きに
4	大皿を入れる ●内面を手前向きに	5	はしを入れる ●汚れた方を上向きに ●1マスに2本ずつ	6	スプーン等を入れる ●汚れた方を上向きに ●スプーン、フォークは内側を奥向きに ●マスに1本ずつ	

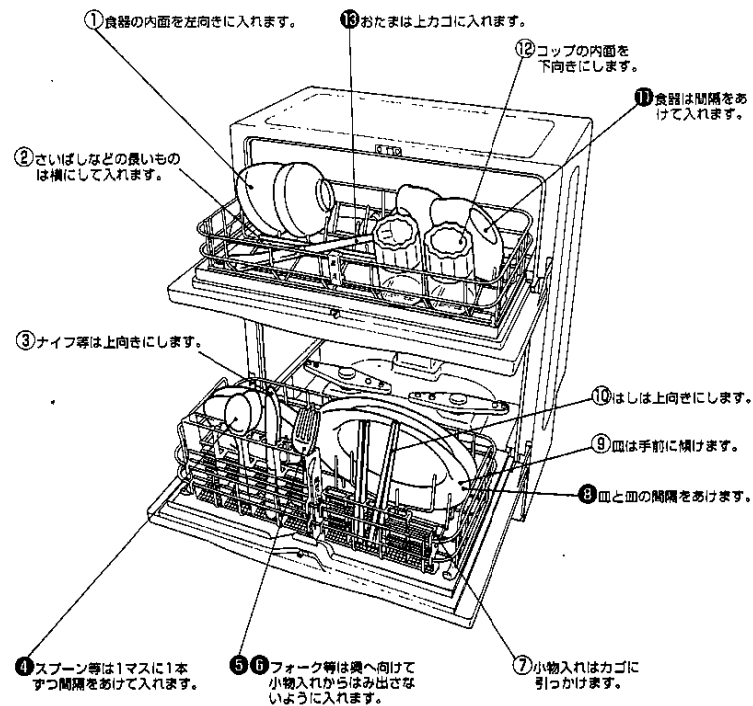
お使いになる前に

食器の入れかた(つづき)

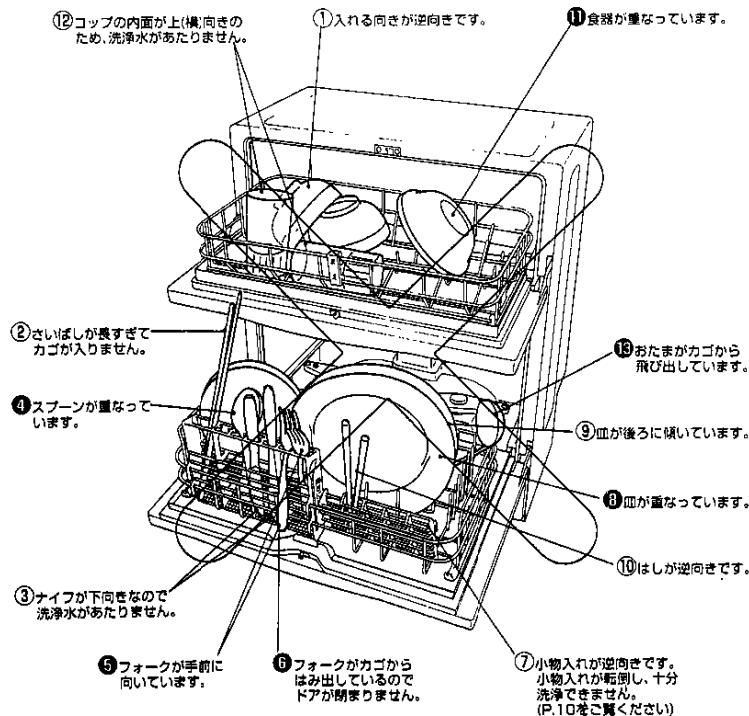
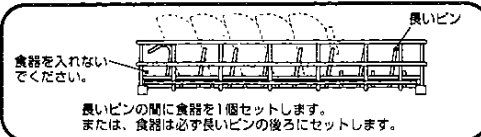
◎ 食器を入れるときのお願い

- 食器を正しい向きに入れてください。
- 食器は重ならないように入れてください。
- 食器がカゴからはみ出ないようにしてください。

正しい例

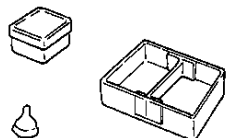






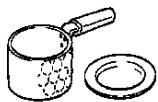


悪い例



入れてはいけないもの

※ひび割れ、変形、変色、本体の故障などの原因になります。

<p>プラスチック容器のふたなどの軽くて小さい食器 哺乳瓶の乳首など小さくて袋状のもの</p>  <p>水圧で飛ばされて下に落ちる場合があります。</p>	<p>ふきん、スポンジなど</p>  <p>食器や調理器具以外は入れない てください。</p>	
<p>カットグラス・クリスタルグラス</p>  <p>白くにこったり、割れたりします。</p>	<p>銀製・洋銀製食器など</p>  <p>金色にかわり、そのあと黒くなります。</p>	<p>耐熱90℃以下のプラスチック 製のもの(耐熱表示のないもの を含む)</p>  <p>変形します。</p>
<p>漆塗り食器、罎箱、金箔入りの食器</p>  <p>はがれるおそれがあります。</p>	<p>びん、徳利などの食器 ひびの入った食器</p>  <p>罎口の小さいものは、中が洗えま せん。 罎ひびが入った食器は割れるおそ れがあります。</p>	<p>アルミ製の鍋・食器</p>  <p>白くなり、そのあと灰色に変色します。</p>

乾燥について

本機は食器の乾燥を経済的に行うため、洗浄で温められた食器の余熱を利用した「余熱乾燥」と「送風乾燥」の2つの方式を採用しています。

◎余熱乾燥について

加熱すぎで温められた食器の余熱を利用して、食器の水分を蒸発させる方法です。ヒータやファンを使用しないので、その分電気代はかかりません。(余熱乾燥のしかたについてはP. 21をご覧ください。)

◎送風乾燥について

ヒータを使用せずファンによる送風で、経済的に食器の乾燥を行います。(送風乾燥のしかたについてはP. 21をご覧ください。)

※本機は加熱すぎの余熱を利用して食器を乾燥させるため、食器の乾燥のみの運転はできません。

初めてお使いになる前に—ご確認ください—

◎こんな汚れは落ちません

手洗いでも落としにくいこびりついた汚れは、そのまま入れてもきれいに洗えません。こすり落としてから入れるか、手洗いですませてください。

例えば…

- グラタンの焼きつき
- 茶わんむしのこびりつき
- 口紅の汚れ
- ナベのこげつき



◎所要時間について

洗浄コース	洗浄工程					合計時間
	洗い	すすぎ1	すすぎ2	すすぎ3	加熱すすぎ	
節約	約21分	約1分30秒	約1分30秒		約6分	約30分
スピーディ	約7分	約1分30秒	約1分30秒		約6分	約16分
標準	約13分	約1分30秒	約1分30秒	約1分30秒	約7分30秒	約25分

乾燥時間はP.21をご覧ください。

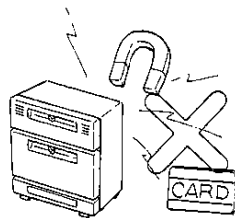
※ 上記洗浄時間は、給水圧0.2MPa(2kgf/cm²)、室温20℃、給湯温度60℃の場合の所要時間です。

※ 洗浄時間は、水圧、水温、室温によって変わります。

※ 上記洗浄時間には、配管残留水排水の動作時間は含まれていません。P.35 ※1をご覧ください。

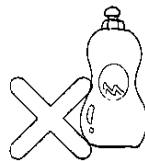
初めてお使いになる前に—お守りください—

磁気カード(キャッシュカードなど)や磁石を本体に近づけないでください。



カードが使えなくなったり、本体が異常を報知するおそれがあります。

食器洗い乾燥機専用洗剤以外は使用しないでください。



一般の台所用洗剤では異常に泡が発生して正しく運転できません。また、故障の原因になります。

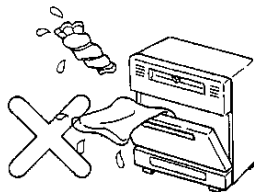
「深夜電力利用温水器」をご使用の場合は、「温調機能なし分岐金具」を取付けないでください。

本体の変形、故障の原因になります。
●もよりの大阪ガスにご相談ください。

交流100V以外では使用しないでください。

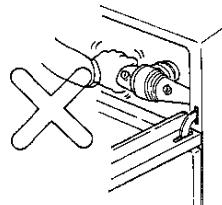
故障の原因となります。

食器洗い以外の目的には使わないでください。



故障の原因になったり、衛生上よくありません。

上ノズルは無理に回さないでください。



上ノズルはモータで回転しています。無理に回すと、本体の破損の原因になります。

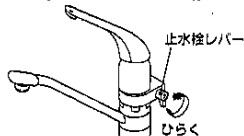
1 運転前に

注意

お湯を使用中、または使用後すぐに分岐金具本体に触れないでください。
やけどをするおそれがあります。

①分岐金具の止水栓レバーを開きます。

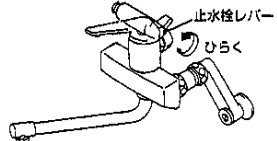
デッキタイプの場合
[シングルレバー混合栓用]



止水栓レバーを「ひらく」の方向に止まるまで回してください。(約90度)

壁付タイプの場合

[シングルレバー混合栓用]



②給湯器の電源が入っていることを確認してください。

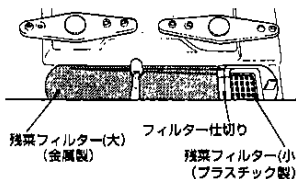
給湯温度を最適な60℃に設定していただくことをおすすめします。

●給湯温度が低いと、洗浄時間が長くなったりランニングコストが高くなったりします。

③残菜フィルター(大)、(小)が図の位置に正しくセットされているか確認します。

注意

残菜フィルターを正しく取付けてください。
カゴから物が落下した際に発熱、発火のおそれがあります。



④ひどい油污れや残菜などを取除きます。
(P.16「こんな汚れは落ちません」をご覧ください。)

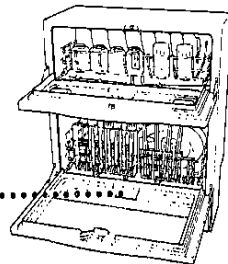
※魚の骨、つまようじ、輪ゴムなども取除いてください。



2 食器をセットし、専用洗剤を入れる

①食器をカゴに入れ、本体にセットします。
(P.10「食器の入れかた」をご覧ください。)

カゴと小物入れには、それぞれ決まった向きがあります。間違わないようにご注意ください。
(P.6をご覧ください。)



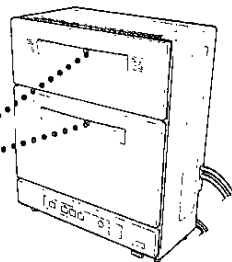
②付属の計量スプーン1杯分の専用洗剤を下ドアの洗剤投入口に入れてください。

※専用洗剤以外は絶対に使用しないでください。
異常に泡が発生し、正しく運転できません。
また故障の原因となります。

■「節約」コースで洗浄する時は洗剤をスプーン半杯にしてください。

■油污れの多い場合は、洗剤を多めに入れてください。

③ドアを静かに閉め上・下ドアの開閉レバーを「とじる」の位置にしてしっかりロックします。



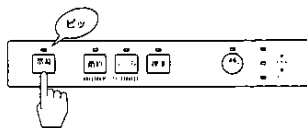
【ドアの開閉方法について】

ドアを開けるとき	ドアを閉めるとき
<p>上下ドアの開閉レバーを「ひらく」の位置にあわせて、ドアを手前に引いてください。</p>	<p>上下ドアを閉めて、開閉レバーを「とじる」の位置に合わせてください。</p>

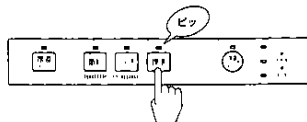
3 コースを選択してスタートさせる

①電源スイッチを入れます。




初めて電源プラグを差し込んだときなどは初期排水を行います。
(P.35をご覧ください。)



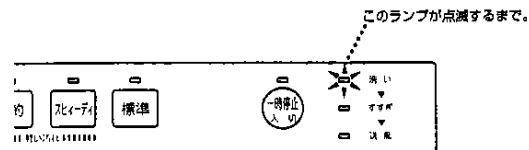
②コース選択スイッチを押すと運転が始まります。



■コースの選びかた

	節約コース	スピーディコース	標準コース
こんな時に	軽い汚れのとき。		ふつうの汚れのとき。
	ランニングコストを節約したいとき。	短時間で洗いたいとき。	食後1時間以内に洗うとき。
洗剤(洗剤)	スプーン半杯 	スプーン1杯 	スプーン1杯 

■コースの選択をしたあとで、違うコースへ変更したい場合
「洗い」の表示ランプが点滅をはじめるまでは、コースの変更ができます。

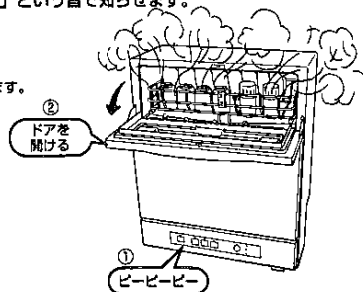


4 食器の乾燥(P.15「乾燥について」をご覧ください。)

食器洗浄が終了したことを「ピーピーピー」という音で知らせます。

◎余熱乾燥の場合

■食器洗浄が終わったら上ドアを開けて乾燥します。



△注意

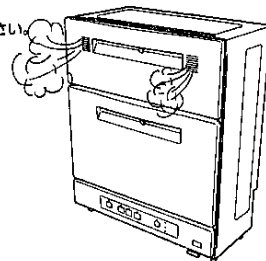
ドアを開けると、蒸気が出ますので顔などを近づけないでください。

乾燥時間の目安は約30分です。

■再び上ドアを閉じると送風を始めます。(洗浄後120分以内)
送風を止めたいとき、電源を「切」にしてください。

◎送風乾燥の場合

■食器洗浄が終わって、そのままにしておくと自動的に送風乾燥(120分間)が始まります。
送風乾燥終了後、電源は自動的に「切」になります。
■送風乾燥を止めたいときは、電源を「切」にしてください。



△注意

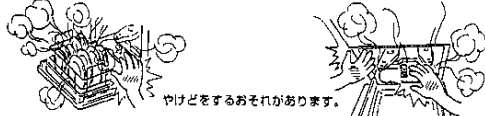
排気口より蒸気が出ますので、顔などを近づけないでください。

●食器の底に水滴が残っていることがありますが、故障ではありません。
●乾燥の仕上がりは気温、湿度により変動します。
(P.34をご覧ください。)

5 後かたづけをする

△ 注意

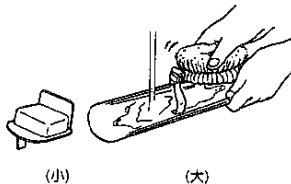
食器の出入れ、残菜フィルターの掃除・お手入れは、洗浄槽内が十分冷えてから行ってください。



① 食器を取出します。

食器を入れたときと逆の順序で取出してください。何枚が同時に取出すと、食器どうしが当たって破損するおそれがあります。

② 残菜フィルター(小)の残菜を捨て、残菜フィルター(大)、(小)を水洗いしてください。



③ 残菜フィルター(大)、(小)を本体に必ず元どおりにセットしてください。(P.18をご覧ください)

※ 残菜フィルターを外したとき、底部にわずかな水が残っていますが、異常ではありません。

④ 分岐金具の止水栓レバーを「とじる」の方向へ止まるまで回してください。

安全のため、ご使用後は必ず止水栓を閉じてください。

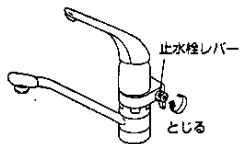
△ 注意

お湯を使用中、または使用後すぐに分岐金具本体に触れないでください。

やけどをするおそれがあります。

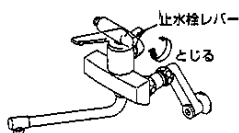
デッキタイプの場合

[シングルレバー混合栓用]



壁付タイプの場合

[シングルレバー混合栓用]



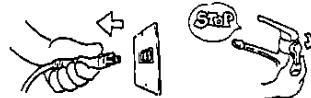
◎運転を開始したあとで

こんなとき	操作のしかた	
スタート後に一時運転を停止する。		「一時停止」スイッチを押す。 (再び運転するときは、もう一度押す。)
スタート後に運転をやめる。		「電源」スイッチを押す。
洗浄コースを変更する。	各コース選択スイッチ 	「洗い」表示ランプが点滅する前] 変更したいコースのスイッチを押す。
		「洗い」表示ランプが点滅したあと] 一度電源を「切」にして洗剤を入れ直し、はじめからやり直す。

◎長期間使用しないとき

△ 注意

長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、分岐金具の止水栓レバーを閉じてください。



万一の場合に、思わぬ事故を防ぐことができます。

※運転を再開するときは食器を入れずに運転し、洗浄槽内を洗ったあとにご使用されることをおすすめします。

いろいろな食器のセット例

	和食の場合	軽食の場合
上カゴ	吸物わん - 4点 茶わん - 4点 湯のみ - 4点 コップ - 2点	コップ - 4点 ティーカップ - 4点 サラダばち - 4点
下カゴ	角皿 - 4点 刺身ばち - 4点 コップ - 2点	大皿 - 4点 ティーソーサー - 4点

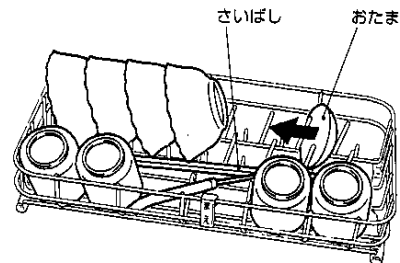
	ラーメンの場合	カレーの場合
上カゴ	茶わん - 4点 小皿 - 4点 コップ - 2点	サラダばち - 4点 デザートばち - 4点 湯のみ - 4点 コップ - 2点
下カゴ	ラーメンどんぶり - 4点 中皿 - 4点	カレー皿 - 4点 小皿 - 4点

◎さいばし・おたま・まな板のセットのしかた

上カゴ

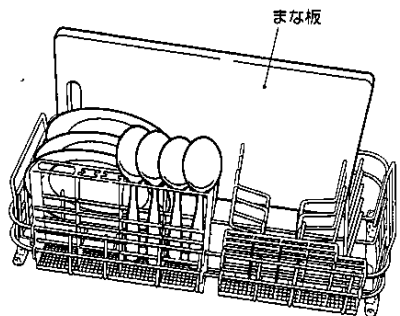
●さいばしははみ出さないようにセットしてください。

●おたまは内面が左向きになるようにセットしてください。



下カゴ

●カゴの奥にセットしてください。



■まな板について

大きさ たて23cm以下、横41cm以下、厚み1.5cm以下

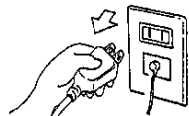
材質 耐熱温度70℃以上のプラスチック製のもの

【お願い】 木製のまな板は、表面のキズに入り込んだ汚れが洗えない場合があります。プラスチック製のものをおすすめします。

お手入れ

警告

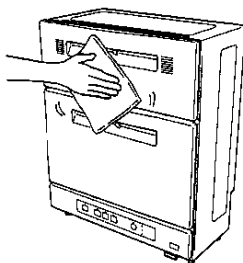
お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



感電やケガをするおそれがあります。

◎本体表面のお手入れ

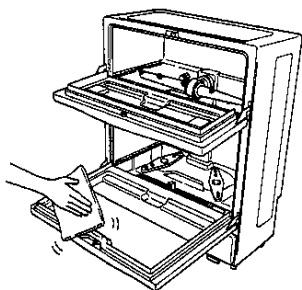
- ぬらした布をよく絞って拭いてください。
- ベンジン、シンナー、クレンザー、ワックス、換気扇・レンジ用洗剤や金属タワシなど、本体表面の変色、傷の原因になるものを使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。



◎槽内やドアの内面のお手入れ

- ぬらした布をよく絞って拭いてください。
- ときどき食器を入れずに洗浄を行うと、清潔さを保つことができます。

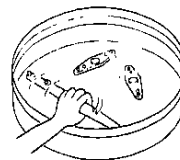
※槽内やドアの内面のお手入れには、台所用洗剤は使用しないでください。
(洗剤が残ると泡の異常発生の原因になります。)



◎ノズルのお手入れ

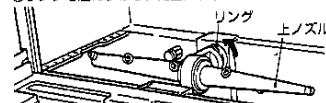
ノズルが詰まったときは下記の方法で取外し、水洗いしてください。

(ノズルのお手入れに中性洗剤などを使わないでください。ノズル内に残った洗剤が、泡の異常発生の原因になります。)

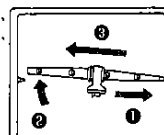


上ノズルの外しかた

①リングを左にまわし、完全にゆるめてください。



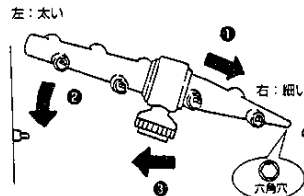
- ②ノズルを右に押しつけ、
- ③左端を持ち上げながら、
- ④取外します。



●上ノズルを傾けすぎると破損の原因となります。

上ノズルの取付けかた

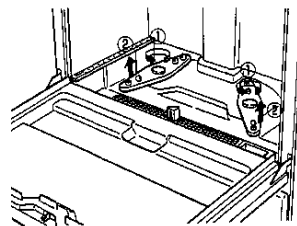
外したときと逆の手順でノズルを取付けてください。
(ノズルの左右を間違えないでください。)



リングを右にまわし、完全に締付けてください。

下ノズルの外しかた

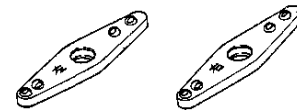
- 1 ナットを反時計まわりにまわして外します。
- 2 下ノズルを持ち上げて外します。



下ノズルの取付けかた

外したときと逆の手順で左右の下ノズルを取付けてください。

(下ノズルは左右で形が違います。「右」「左」の文字を確認の上、間違えないように取付けてください。)



※部品をなくさないように注意してください。

※上ノズルは無理にまわさないでください。(本体の破損の原因になります。)

お手入れ(つづき)

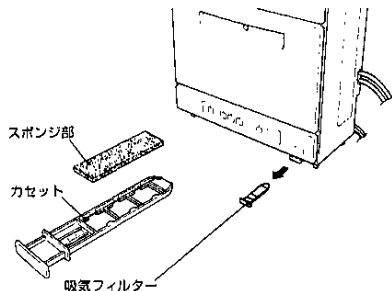
◎吸気フィルターのお手入れ

吸気フィルターがホコリなどを吸込んで目づまりすると乾燥性能が低下します。

①本体正面右下にある吸気フィルターのカセットを引出してください。

②黒いスポンジ部をカセットから取出し、軽く水洗いしてください。

③完全に水気を切りカセットに差込み、本体に取付けてください。



◎分岐金具ストレーナのお手入れ (P.37「給水不良」をご確認ください。)

水道メータの上水栓またはバルブを閉じ、水栓から水が出ないことを確認してください。
(分岐金具の施工説明書で順番を確認し、該当する頁を見てください。)

EUDB101, EUDB102	
<p>給湯ホース ストレーナ 止水栓</p>	給湯ホースを外し、ストレーナを取出してください。
	ストレーナの網目につまったごみをブラシなどで取除いてください。
<p>給湯ホース ストレーナ ホース接続部</p>	ホース接続部に給湯ホースを確実に固定してください。

EUDB103	
<p>給湯ホース ストレーナ 分岐金具</p>	給湯ホースを外し、ストレーナを取出してください。
	ストレーナの網目につまったごみをブラシなどで取除いてください。
<p>給湯ホース ストレーナ 分岐金具</p>	ホース接続部に給湯ホースを確実に固定してください。

EUDB100水車並 (活鋼なし分岐金具) *SS3, BL3, SSA3, SMA3, SMB3, SMC3, SIA3, SIB3, SIC3, SID3, SIF3, SKA3, SKB3, SKC3, SKD3, SKE3, SYA3, SJA3, SJB3, STA3, SSC3	
<p>袋ナット 止水栓 給湯ホース ストレーナ</p>	モンキースパナなどで袋ナットを締めて止水栓を外し、ストレーナを取出してください。
	ストレーナの網目につまったごみをブラシなどで取除いてください。
<p>袋ナット 止水栓 給湯ホース ストレーナ</p>	分岐金具に止水栓を確実に固定してください。 注) ストレーナの付け忘れにご注意ください。

EUDB100E3, EUDB100ET3 EUDB100EM3, EUDB100EJ3	
<p>袋ナット 止水栓 給湯ホース ストレーナ</p>	モンキースパナなどで袋ナットを締めて止水栓を外し、ストレーナを取出してください。
	ストレーナの網目につまったごみをブラシなどで取除いてください。
<p>袋ナット 止水栓 給湯ホース ストレーナ</p>	分岐金具に止水栓を確実に固定してください。 注) ストレーナの付け忘れにご注意ください。

本体の設置

◎設置場所について

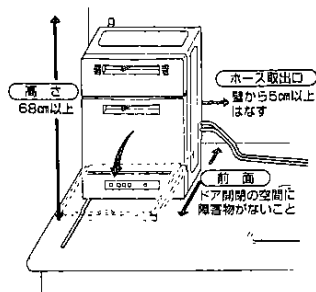
⚠ 注意

しっかりとした平らな面に正しい方法で設置してください。

(転倒のおそれがあります。)

■給排水への接続や使い勝手を考えると、流し台の近くでお使いいただくのが便利です。

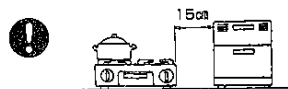
■凍結のおそれのある場所(0℃以下)や直射日光のあたる場所への設置は避けてください。



※本体の金属部分が、部屋の金属板、流し台のステンレス天板などと、電気的に接触しないようにしてください。(電気設備技術基準182条により義務づけられています。)

⚠ 警告

本機の設置場所はガスコンロなどの熱源から15cm以上離してください。



(火災や変形のおそれがあります。)

◎電源の確認

■交流100V、15A以上のコンセントを専用でご使用ください。

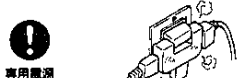
■電気工事は電気設備基準に準じて行ってください。

■コンセントに電源プラグを差込んだとき、グラグラしていると、電源プラグが加熱して危険です。このようなときは使用を中止し、電気工事店にご相談ください。

■電源コードを無理に引張ったり、たばねたり、また重い物を載せたり、はさみ込んだりしないでください。

⚠ 警告

使用するコンセントは定格15A以上のコンセント(専用)を単独で使用してください。(※タコ足配線は絶対にしないでください)



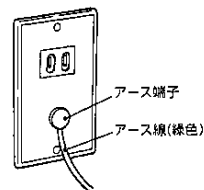
専用電源

(他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。)

◎アース線の接続

万一の感電事故を防ぐため、必ずアース線を正しく取付けてください。

コンセントにアース端子がある場合



■アース工事は電気工事士の有資格者が第3種接地工事(有料)をするよう法令で定められています。

■設置場所を変更された場合やご転居の際には、再度アースの取付けをしてください。

■不明な点は、電気工事店にご相談ください。

■アース線は本体から出ている緑色の電線です。

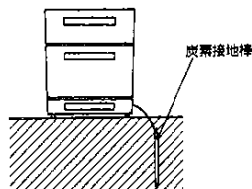
■次の場所へはアース線を絶対に接続しないでください。

- ガス管
- 水道管
- 遊園針のアース
- 電話線

コンセントにアース端子がない場合

■炭素接地棒によるアース工事をしてください。

(別売品: EUDP006)



◎給湯器の確認

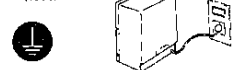
■10号以上の先止め式給湯器に接続してください。

■70℃以下のお湯が供給される給湯器に接続してください。70℃以上給湯する設備に接続する場合は、専用の分岐金具がありますので、もよりの大阪ガスにお問い合わせください。

■水道水圧は0.05~0.74MPa(0.5~7.5kgf/cm²)の範囲で使用してください。

⚠ 警告

- アースを確実に取付けてください。
- アース工事は必ず電気工事店に依頼してください。(有料)



(故障や漏電のとき感電するおそれがあります。)

⚠ 注意

元止め式の湯沸器に接続しないでください。



(本体に給湯されなかったり、湯沸器から水漏れを起こすおそれがあります。)

本体の設置(つづき)

◎転倒防止金具について

⚠ 注意

転倒防止金具はしっかりとした平らな面に正しい方法で取付けてください。

※詳しい設置方法は、施工説明書をお読みください。

	設置例	金具の取付けかた	部 品	備 考
正面置き (同梱品)		ガイド (A) 壁にねじ止めできる場合 ガイド (B) 壁にねじ止めできない場合 フラットバー 締め込釘 接していること	フラットバー ガイド 六角ナット 木ねじ	固定可能な場合は両面テープを使用してください。 壁にねじ止めができる場合は木ねじを使用してください。
横置き (別売品)		締め込釘 接していること	ブラケット ×3種 ゴムシート 六角ナット	ブラケットは8寸法の違いにあわせて、(大)・(中)・(小)の合わせて3種が同梱されています。

縛付スパナ (同梱品)	 呼び15 呼び17	 アジャスタを押えながら、縛付スパナで縛付けます。	取付け、取外しの際に必要となります。必ず大切に保管してください。
----------------	------------------	------------------------------	----------------------------------

◎分岐金具と給湯ホースの接続

■分岐金具の確認

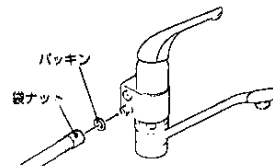
お使いになられている給湯器と水栓のタイプにより用いる分岐金具が異なります。

■分岐金具と給湯ホースの接続

パッキン (又はストレーナ) をつけたことを確認した上で、しっかりと締付けてください。

⚠ 注意

給湯ホースは切らないでください。水漏れの原因になります。



注) 袋ナットを斜めにねじ込まないように注意してください。

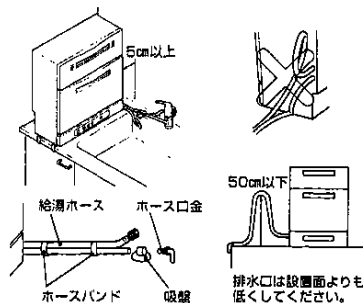
◎給湯・排水ホースのセット

●給湯・排水ホースの取出しが壁に面する場合は、本体を壁から5cm以上離してください。

●給湯・排水ホースは、ねじれや折り曲がりがないようにしてください。
(給湯・排水不良やねじれや残菜フィルター部の残水の増加の原因になります。)

●排水ホースの先端は必ず設置面より低くしてください。また途中で立ち上げるときは、50cm以下にしてください。(排水不良や残菜フィルター部の残水の増加の原因になります。)

【設置例】



◎水平の確認と調整

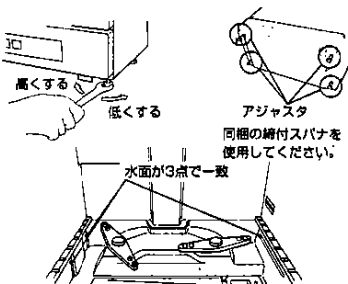
本体を傾けた状態でご使用になると、本来の性能を発揮できないうえ、水漏れ等の原因となります。本体を水平に調整してからご使用ください。

■水平の調整のしかた

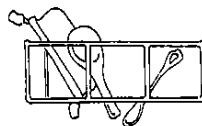
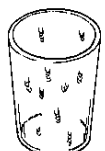


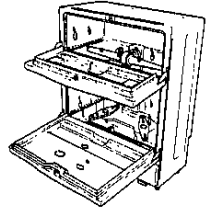
●アジャスタで前後左右の高さを調整してください。
●水平を調整したあと、本体が正常に運転することを確認してください。

■水平の確認

●試運転を行い、「洗い」が始まったら電源を切り、下ドアを開いてください。
●洗浄槽下部の「突起」の高さと水面が3カ所まで一致するように、アジャスタを再調整してください。
(再度電源スイッチを入れると、自動的に排水します。)



仕上がりが悪いと思われる場合

洗いがりが悪い	乾燥仕上がりが悪い
<p>■洗えていないものがあるとき 食器を重ねて入れたり、食器がカゴの底からはみ出してノズルの回転を止めたりしていませんか。(P.12をご覧ください。)</p> 	<p>■ガラス食器類に薄い水滴の跡が残る場合 水に含まれているミネラル分のためです。異常ではありません。</p> 
<p>■食器が黄色く、または薄黒くなっているとき 水に含まれている鉄分や茶しびなどのためです。ときどきは食器をごさって洗ってください。</p> 	<p>■糸底部の残水 食器セットのしかたや形状によっては運転終了後に、食器の糸底部に水滴が若干残ることがありますが、異常ではありません。</p> 
<p>■ガラス食器類が白くくもるとき 表面に小さな傷のついたガラス食器類を高濃度の洗浄水で洗うと、白くくもることがあります。</p>	<p>■洗淨槽内に水滴が残る 洗淨槽内の天井やドアの内側に水滴が残ることがありますが、異常ではありません。</p> 
<p>■その他、洗いがりが悪いと思われるとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 残葉フィルターが目づまりしていませんか。 ● 焼けつき、焼けこげなどのあるものをそのまま入れていませんか。(P.16) ● 専用洗剤を入れ忘れたり、専用洗剤以外の洗剤を使用していませんか。 ● 洗剤を入れる場所を間違えていますか。(P.19) ● 食器やスプーンなど、入れる向きを間違えていますか。(P.10) ● コース選択は適切でしたか？(P.20) ● ノズルが目づまりしていませんか。(P.27) ● 上カゴの向きが逆になっていませんか。(P.8) ● 残葉フィルターを正しくセットしていますか。(P.18) 	

こんなときは故障ではありません

状 況	理 由
電源を「入」にするとすぐに排水をはじめます。	<p>本機が正常に運転するように洗淨内に残った水を排水する動作です。この排水動作は、以下のことが起こった後、再び運転するときに行われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 停電やブレーカーの作動後 ● 異常の検出や電源「切」による中断後 ● 電源プラグの抜き差しした後
コース選択スイッチを押すと給水した後、すぐに排水をする。	<p>洗淨開始から最適給湯温度で食器の洗淨を行うために、給湯配管の中にとまった冷たい水を排水するための動作です。(※1.配管滞留水排水)</p>
洗淨中にとときどき運転が止まる。(2秒間)	<p>この動作は効率よく食器を洗淨するための動作です。</p>
排水中に排水動作が止まる(3秒間)	<p>この動作は効率よく排水するための動作です。</p>
洗淨時間が長い	<ul style="list-style-type: none"> ■ 給湯温度が低くありませんか？ 給湯器の電源、温度設定を確認してください。 ■ 配管滞留水排水(※1)をなくしていませんか？(※2)

※1. 配管滞留水排水は電源スイッチを切り、「一時停止」スイッチを5秒間押し続けるとなくすことができます。このとき「ピッ」という音が鳴ります。

ただしこの場合、運転開始時の給湯温度が低くなるため洗淨時間が延びることがあります。

※2. 初期状態に戻すためには一度電源のコンセントを抜き、10秒後に再度差し込みます。次の運転から配管滞留水排水を行います。

運転しないとき

以下のことをお調べください。


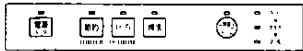


なお異常のあるときはお買上げの販売店、またはもよりの大阪ガスにお問い合わせください。

チェックポイント	■コンセントから電源プラグがはずれていませんか？
	■停電していませんか？
	■ブレーカーが作動していませんか？
	■上下ともドアが閉じ、開閉レバーが「閉じる」の位置になっていますか？
	■「一時停止」ボタンを押していませんか？
	■洗浄コースボタンを押しましたか？

凍結・停電・断水・ブレーカー作動の場合





凍 結	①電源を切りドアを開けて洗浄槽に70℃程度の温水を約3ℓ入れ、解凍するまで放置してください。	②解凍後電源を入れ「スピーディ」コースで運転ができることを確認してください。
停 電	停電が回復したら、洗剤を入れ直してはじめてから操作をやり直してください。	(電源を入れるとすぐに排水が開始します。) P.35をご覧ください。
断 水	①使用中に断水した場合は、電源を切り運転を中止してください。	②断水が回復したら、まず蛇口からこぼった水を流してから、洗剤を入れ直してはじめてから操作をやり直してください。
ブレーカーが作動したとき	ブレーカーを復帰させたら、洗剤を入れ直してはじめてから操作をやり直してください。	(電源を入れるとすぐに排水が開始します。) P.35をご覧ください。

異常報知について

表示と警報	内 容	処 置
①「電源」「スピーディ」の表示ランプが点滅し、警報音(ビー)が10秒間鳴ります。 	排水不良 排水ホースの折れや異物のつまりによって、洗浄槽内の水を全く排水できないことを示しています。	■残葉フィルターがつまっていないか確認してください。 ■排水ホースが折れ曲がっていないかなどの不具合を確認してください。
②「電源」「標準」の表示ランプが点滅し、警報音(ビー)が10秒間鳴ります。 	排水不良 排水ホースの折れや異物のつまりによって、排水が不十分であることを示しています。	■残葉フィルターがつまっていないか確認してください。 ■排水ホースが折れ曲がっていないかなどの不具合を確認してください。
③「電源」「一時停止」の表示ランプが点滅し、警報音(ビー)が10秒間鳴ります。 	給水不良 断水、水道の凍結、水道元栓または分岐金具の止水栓の閉じ忘れなどで給水できないことを示しています。	■分岐金具の止水栓レバーが開いているか確認してください。 ■断水の場合はP.38「断水の場合」をご覧ください。 ■分岐金具のストレーナが目づまりしていませんか？(P.29)
④「電源」「節約」の表示ランプが点滅し、警報音(ビー)が10秒間鳴ります。 	高温給湯 給湯器の温度設定が高すぎる場合や、分岐金具の故障により、給湯温度が高すぎることを示しています。	■給湯器の温度を80℃に設定してください。
	その他の異常 極端な低温下(−20℃以下)にあるか、温度検知機能の故障であることを示しています。	■本体の周囲温度が−20℃以上であることを確認してください。

※①～④の処置を行ったあと、一度電源を切り運転をやり直してください。再び異常報知を行う場合は、分岐金具の止水栓レバーを閉じて、電源プラグを抜き、お求めの販売店もしくはもよりの大阪ガスまでご連絡ください。

異常報知について(つづき)

表示と警報	内容	処置
<p>⑤ 「スピーディ」「洗い・すすぎ・送風」の表示ランプが点滅し、警報音が繰り返し続けます。</p> 	<p>異常給水</p> <p>給水弁などの故障により、洗浄槽内に所定量以上の給水が行われているか、給水が止まらなくなっていることを示しています。</p> <p>(表示と同時に排水動作を行います。)</p>	<p>図1にだちに分岐金具の止水栓を閉め、電源プラグを抜いてください。</p>
<p>⑥ 「一時停止」「洗い・すすぎ・送風」の表示ランプが点滅し、警報音が30分毎に10秒間隔で続きます。</p> 	<p>異常加熱</p> <p>洗浄槽内の温度が異常に高くなったことを示しています。</p>	<p>図2にフィルタがつまっていなければ確認した後に、1度電源プラグを抜いてから再度運転をやりなおしてみてください。</p> <p>図3再び異常報知を行った場合は、分岐金具の止水栓を閉め電源プラグを抜いてください。</p>
<p>⑦ 「節約」「一時停止」「洗い・すすぎ・送風」の表示ランプが点滅し、警報音が30分毎に10秒間隔で続きます。</p> 	<p>ヒータ故障</p> <p>ヒータなどの故障により洗浄水の温度が上がらないことを示しています。</p>	<p>■分岐金具の止水栓を閉め電源プラグを抜いてください。</p>
<p>⑧ 「節約」「洗い・すすぎ・送風」の表示ランプが点滅し、警報音が30分毎に10秒間隔で続きます。</p> 	<p>温度検知機能故障</p> <p>温度検知機能が故障し正常に運転できないことを示しています。</p>	<p>■分岐金具の止水栓を閉め電源プラグを抜いてください。</p>

※⑤～⑧の処置を行ったあと、お求めの販売店もしくはもよりの大阪ガスまでご連絡ください。
 ※警報音を止めたいときは電源スイッチを切ってください。(このとき電源プラグを抜くまで、表示ランプは点滅し続けます。)

アフターサービスについて

※お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすることは危険です。絶対にしないでください。

■保証書(別に添付してあります)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

保証期間…お買い上げ日から1年間。ただし一般家庭用以外に使用される場合は除きます。

■修理を依頼されるとき

34～38ページの表をお調べになり、直らないときは必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

- 保証期間中は
- 保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が出張修理をさせていただきます。

■ご連絡していただきたい内容

- ご住所、ご氏名、電話番号
- 製品名、品番、お買い上げ日
- 異常の内容(できるだけ詳しく)
- 訪問ご希望日

- 保証期間が過ぎているときはお買い上げの販売店へご連絡ください。
- 修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

■補修用性能部品の最低保有期間

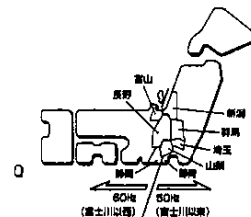
この食器洗い乾燥機の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)は、製造打ち切り後、最低6年間保有しております。

■アフターサービスなどについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにお問い合わせください。

引越しのときのお願い

- 取付け、取外しのときはお買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。
- 水栓の形状により、接続可能な分岐金具が異なります。
- 電源周波数(東日本50Hz、西日本60Hz)の異なる地域へ転置される時、必ず循環ポンプ、排水ポンプの取換えをお買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスにご依頼ください。(部品代のみ保証期間中無料、工費は有料です。)



仕様

電源電圧	交流100V	使用水量	約19ℓ	標準食器 収納容量	(4人用) (28点収納) 大皿…4点 中皿…4点 小皿…4点 吸物わん…4点 茶わん…4点 湯のみ…4点 コップ…4点 はし、スプーン、 ナイフ、フォーク
周波数	60Hz専用	水道水圧	0.05~0.74Mpa (0.5~7.5kgf/cm ²)		
最大消費電力	1250W(60Hz)	洗浄方式	回転ノズル噴射式		
外形寸法	500(幅)×275(奥行)×635(高さ)	すすぎ方式	ためすすぎ		
製品の質量	約20kg	乾燥方式	余熱乾燥 (送風乾燥)		



別売品

メーカー取寄せになりますので、お求めの販売店もしくはもよりの大阪ガスにお問い合わせください

横置用転倒防止金具 EUDP007 <p>×3種</p>	炭素接地棒 EUDP006 	ステンレス置台 正面置き用 EUDP005 <p>(厚さ10mm)</p>	専用工具 EUDZ001
延長用給湯ホース(50cm) EUDP002 	延長用排水ホース(50cm) EUDP003 <p>※延長後のホース全長は2.5m以内にしてください。</p>	ステンレス置台 横置き用 EUDP004 	

食器洗い乾燥機専用洗剤

■食器洗い乾燥機専用洗剤をご使用ください。
ハイウォッシュS(スーパー) 800g入 別売: 4384050251
(お求めの販売店でお買い求めください。)

■専用洗剤以外は絶対に使用しないでください。一般の台所用洗剤では、泡の異常発生で正しく作動しません。